

平成 31 年 2 月 6 日 第 5 回民生委員・児童委員活動に関する検討委員会作業部会
における主な意見（民生委員・児童委員活動に関する検討委員会 報告書（案）に対する意見）

1 「都内民生委員・児童委員の現状」について

- ・平成 28 年の一斉改選の状況について、中核市である八王子市も含めて記載してはどうか。（都民連代表）

2 「課題解決に向けて」について

2-1 「候補者確保の取組」について

- ・取組の方向性の記述とコラムを同じページにするなど、ページ組を少し工夫すると、より分かり易いと思う。（都民連代表）
- ・「退任の際には後任を探すよう、代表会長が全体会で呼びかけている地域もあります」とあるが、民生委員の役割を知っている民生委員が後任を探すとよい人が探せるのではないかということであり、もう少し丁寧に書いたほうがいい。（都民連代表）
- ・徳島県で実施している「子ども民生委員」は通称である。（都民連代表）

2-2 「民生委員・児童委員の活動支援に向けた環境整備」について

- ・協力員事業の「二極分化」に対する説明が無い。また、二極分化という言葉のインパクトが大きい。（学識経験者）
- ・地元では、教育長と民児協の会長と全地区の主任児童委員とが一堂に会して、話し合いをする。民生委員・児童委員というのは、家庭と子どもをどちらも見る。地域が持っている民生委員の存在は大きい。（都民連代表）
- ・校長会や教育委員会の中で、民生委員との対話の仕方や情報提供のあり方を検討していただきたい。（都民連代表）
- ・民生委員には、みんなが地域の中で一緒に考えるということを働きかけるキーパーソンをしていただくというような内容が書かれるとよい。（学識経験者）
- ・全民児連では、毎年、児童委員活動の手引きを出しているので、ぜひ活用してほしい。（学識経験者）

3 「おわりに」について

- ・主に民児協が「内的環境の整備」で、「外的環境の整備」は行政が中心で、民児協とうまく連携するという書きぶりに整理していただいたほうがよい。（都民連代表）
- ・活動強化方策を実践していくという内容を書くべきではないか。（都民連代表）
- ・時代の変化に対応した研修や勉強の機会を持つことはいいことである。（学識経験者・都民連代表）
- ・さまざまな立場の人が、それぞれの立場から考え、参加し、協力していかなければならないというようなことを最後に入れていただくと、それぞれ自分の立場で何ができるかを考えていくことが重要だということを認識していただけたらと思う。（学識経験者）